



加古だより

加古小学校通信
令和6年5月31日
No.6 (373号)

5/17(金)と5/24(金)はLGBTQについて学びました



加古小学校では今年で3年目になる取り組みです。今年も、前田 良先生にお越しいただき、5/17は全学年で、5/24は再度5・6年で授業を行いました。続けることで進む子どもたちの理解と成長は大変大きいものと感じています。きっと各ご家庭でも話題に上ったことでしょう。いや、加古小の子どもたちにとっては普通の学びの一つになっているかもしれませんね。

5/28(火) 狂言鑑賞会

この日は朝から大粒の雨、10時前には洪水警報が発表となり、保護者の皆様は、さぞ大変ご心配のことだったと思います。その中で、以前より予定しておしました狂言鑑賞会を3～6年生対象で行いました。狂言の先生方は、楽しみにしている子どもたちのためにと大阪から豪雨の中お越しくださいました。

そして始まった鑑賞会、ほとんどの子が日本の伝統芸能である「狂言」というものを初めて見聞きしたようで「いったい何？」と思いながらも、先生方の巧みなお話にどんどん吸い込まれていきました。正座やお辞儀の仕方を教わり、体験コーナーでは、長者の列！そろりそろりとすり足で歩き、笑い方や泣き方を練習しました。また、代表児童は狂言で使う貴重な面をつけさせていただくこともでき、それを見る子どもたちも新鮮な驚きと発見がいっぱいでした。最後に6年生の国語教科書に掲載されている「柿山伏」を演じていただきました。独特の言い回しや振りに笑いも起こり、すっかり狂言に魅了されたようです。

狂言の先生方からは、「加古小の子どもたちは、楽しいところは盛り上がりながらも、しっかり話を聞いてくれ、我々もとても充実した時間となりました。子どもたちが興味を持ってくれたことがわかりました。それに、こんなにたくさんの体験者や質問が出たのも初めてです。」という嬉しいお言葉をいただきました。また、短時間にもかかわらず、具体的なことを入れて感想が書けていました。素晴らしい！外は暴風雨でしたが、伝統芸能の世界にどっぷりと浸った異次元空間にいるようなひと時でした。

そして、そのあとは、雨と通学路の増水の影響を考慮して、引き渡し下校としました。急な対応にもかかわらず、ご協力いただき、ありがとうございました。



きらい☆がいっぱい！！

翌、29日は気持ちの良い青空が広がっていました。しかし、運動場には車の轍がくっきりと。仕方ないこととはいえ、このままでは体育の授業や外遊びに支障が出てくるなあと感じていると…なんと、6年生がトンボ掛けをしてくれているではありませんか！！それも、自主的に！うれしいびっくりです。すると、「6年生が運動場の整備をしてくれています…」との放送が流れてきました！これまたびっくり！！こんなことは、歴代の6年生にはなかったことです。みんなのために主体的に動く、その良さに気づいてみんなに知らせてくれる。青空の何倍もすがすがしい気持ちになりました。そして、その次の日には、5年生もトンボ掛けを…6年生の素敵なお手本が活きています。見事なキラリの連鎖、うれしいなあ♡♡♡そして、ありがとう！！！！



5/31、トイレのスリッパを並べてくれている3年生を見つけた！ありがとう！